2011 年
10 月号
No.060
2011 年 10 月 8 日発行

月刊
かわごえ環境ネット

かわごえ環境ネット

目次

地域環境活動を聴く（38）須藤篤さん…… 2
かわごえ環境ネットの活動報告（1 題） …… 3
会員・地域・流域の環境活動（4 題） ……4-6
川越市からのおしらせ……6-7
理事会・専門委員会からの報告（5 題） ……7-9
おしらせ・広報委員会から・イベントカレンダー……9-12

可燃ごみの削減に、ごみ袋の有料化は必要？

市民のモラルがごみ出しに

先般、9 月号の月刊かわごえ環境ネットの配付封筒に、皆様方へ市長名の依頼文「可燃ごみの排出重量測定へのご協力について」の依頼文が同封されていました。もう測定の上、提出済みでしょうか。

まだでしたら、期限は今月 15 日（土）です。是非、ご提出をお願いいたします。これは、かわごえ環境ネットと環境推進員限定の調査で、今後の可燃ごみ減量化の重要な検討資料になります。ぜひご協力をお願いいたします。

先般、広報にも可燃ごみの有料化を検討している旨の記事がありました。確かに、ごみ袋購入による有料化は、各家庭で、袋代節減のためごみは減ると思いますが、不法投棄が増える、自宅で燃やす等の懸念もありますし、高額所得者にはなんでもない額でも、高齢の年金生活者にとっては、ごみは少ないとはいえ、費用負担には辛いものがあると思われます。削減目標を掲げ、市民全体で真剣に取組めば、減量化出来るのではないでしょうか。しかし、タバコの吸殻・ごみのポイ捨て、犬の糞の放置等、平気で行う世の中では、施策の徹底も難しく、ごみ袋の有料化はレジ袋削減にもつながり、妥当なのかもしれません。

ごみ袋の有料化は、近隣の坂戸市では、「指定袋」制を 7 年も継続中で、鶴ヶ島市では取りやめました。日高市では新規検討中です。全国的には、いろいろな方策で、ごみの削減に成功している自治体が多くあります。その大半は、首長の強い指示で行政、民間団体、市民、有識者を交えて、議論を重ねてよい結果を得ており、事例がいろいろと発表されています。今回、川合市長の指示があったことは、最大の強みで、是非、資源循環推進課を中心に、我々かわごえ環境ネット、かわごえ環境推進員等と全力投球で取組み、最大の効果をもたらす結果を生み出したいものです。皆様方の絶大なるご協力をお願いいたします。

かわごえ環境ネット　理事／社会環境部会代表　原嶋昇治

須藤篤さん

個人会員訪問 地域環境活動を聴く（38）

須藤篤さんとお会いしたのは、川鶴公民館のロビーでした。個人会員の環境活動をお聴きしたいので、お会いできませんか、と電話を掛けました。「環境ネットに入りましたが、定年が少し伸びて仕事を続けることになり、会合にも参加していませんので、何も話すことはありませんね・・」との言葉が電話から聞こえました。今は、どの様にお過ごしですか、とお聴きすると「定年で仕事が終わった時にと思い環境ネットに入りました。」「環境について、何かできるかなと思っている時に、耕作放棄されていた約 1 反くらいの畑を無償で貸してくれる方と出会い、雑草取りから始めて、週に 2～3 日を野菜作りに汗流しをしています。」「虫よけの消毒を出来るだけ少なくする方法を取り入れています。」「耕作する畑の脇に、クローバーを植えると、てんとう虫と蜘蛛が住み、野菜に付く虫を食べてくれる。」えっ・・・それ見せてください。その前にお話しをお聴きかせください。との会話から冒頭の取材に至った次第でした。川鶴公民館のロビーに着くと既に待っておられ初対面の挨拶、名刺交換からはじめました。「この名刺でいいかな・・」と出されたのが、東京サロンオーケストラ代表幹事の肩書。

どのような役なのですか。「オーケストラの世話役です。ポピュラーの楽譜は、手作りで作成しないとないのです。」「ずっーと先の演奏会の楽譜作りをしています。」「日本の歌 100 選のオーケストラ用の楽譜を手掛けており、あと数年はかかりそうです。」須藤さんは、どのような楽器を弾かれるのですか。「名刺に写真があります。チェロを長くやっています。」「チェロの胴体は、自然界で成長した木を形作って良い音が出るように長年工夫されています。」「絃は、昔は動物の一部・腸を利用して作られています。」「音楽は、人の心に安らぎをもたらす大切なものです。」「仲間とアンサンブルを組んで、小学校・老人施設などに行くこともしています。」須藤さんのお仕事は、どのようなことをしていたのですか。「企業の環境 ISO14001 の認証を取得し、環境活動を継続する業務等を行っています。」「最近、拠点が多い企業は、取得した認証の継続に費用が掛かるので止めるところが出てきています。」「企業努力で、地球温暖化の対応が進み、排出権が売れる企業も出てきています。」地球温暖化防止と目標値削減の対応に対する専門知識をお持ちと伺えました。生まれは、どちらなのですか、もお聞きしました。「秋田県に高校 3 年までいました。母親の実家が農家で朝早くから手伝わされていました。」「実家近くの里山は、営林事業が盛んな頃でした。」「人が作った森は、人が手を加えての森になっている。」「あと 1 年くらいで、完全リタイヤになりますので、荒れた里山で、力仕事もこなしてみたい気持ちがあります。」これは、私が行っている川越緑のサポーター活動と一致することになり、うなぎが多くなり話が盛り上がりました。「今は、畑での野菜作りに力を注いでおります。」「キャベツ、ブロッコリー、白菜、玉ねぎ、トウガラシ、等を四季に合わせて土づくりから始めています。」「夜盗虫・・蛾の幼虫で、昼は土の中、夜出てきて葉と茎を食べる困り虫。殺虫剤でないオルトランで駆除しています。」ここで、野菜畑を見せてください。と申し込みますと明後日、水曜日に畑で会う約束で取材は中断。畑は、鶴ヶ島市にある、菜の花保育園のすぐ横あり、畑を見せてもらいました。野良着姿の須藤さんに広いですね。「そうだね・・・間口 20m、奥行き 50m あります。」「10m ずつに区切り、野菜を植えています。」「順次移動しての野菜作りで、連作障害を起こさないようにしています。」

演奏会用の楽譜作りを語る須藤篤さん

三つ葉のクローバーが植えられた畑

区切られた小路には、三つ葉クローバーが 10cm 幅で植えられている。「この茂った三つ葉クローバーの中は、蜘蛛の巣だらけ。」「テントウムシもたくさん住み、アブラムシを食べてくれます。」「コオロギも住み着き、賑やかな演奏を聴かせてくれます。」環境活動になる野菜づくりを実践している須藤さんのお話が聴けました。

（2011 年 9 月取材　理事・広報委員：金子晃）

かわごえ環境ネットの活動報告

「生ごみは宝だ･第 19 回生ごみリサイクル交流会 2011」に参加　　社会環境部会

「生ごみリサイクル」は、ごみ処理のあるべき姿であろうと信じ、先進事例にヒントを学ぼうという熱心な人々が全国から集まり、早稲田大学国際会議場で「第 19 回生ごみリサイクル交流会 2011」が 8 月 26 日に開かれました。かわごえ環境ネットからは、社会環境部会の原嶋代表ら 3 人が参加しました。

最初に、主催者である NPO 法人有機農産物普及・堆肥化推進協会の瀬戸理事長から、東日本大震災と原発災害がもたらした姿に胸を痛めるとともに、過去の災害からの教訓が生かされていないことや、安全神話に踊らされた政財界・マスコミの不明を批判しました。持続可能で次世代にツケを残さない未来社会構築のために、責任ある主役になろうと呼びかけました。

午前の全体会は、「韓国全土に広がる生ごみ資源化･90%達成･生ごみ埋め立て禁止法制定が背景に」と「さっぽろ学校給食フードリサイクル・学校、行政、地域、農家の輪をつくる」の事例報告がなされました。

「韓国全土で広がる生ごみ資源化について」の講演

韓国は、1995 年からごみ袋有料化制が導入されましたが、食品残渣の生ごみの処理も 2005 年から埋め立て禁止とし、生ごみリサイクルを推進してきました。食物資源化施設に対しての財政的支援などにより、生ごみの 42.2%が飼料に、41.4%が堆肥になっています。しかし、つくられた飼料や堆肥の品質の問題や、韓国の食文化から食品廃棄物の増加傾向の転換など課題が山積していました。

札幌市の例は、農協・生産農家を巻き込んだ「フードリサイクルの輪」ができ、学校の食育教育との連携につながった見本として、会場の共感を呼びました。川越市でも、菅間給食センターの大型生ごみ処理機からの製品が有効に活用されていない実情に改善の余地を感じました。その後、栃木県の高根沢町が、町ぐるみで取り組んでいる様子がビデオで紹介されました。

「シンプルな堆肥化施設 協働の力でついに始動」の講演

午後は各分科会に参加した結果を報告します。第 1 分科会は「市民と自治体･企業の協働で生ごみ堆肥化」のテーマで、NPO エコハウス御殿場の「シンプルな堆肥化施設、協働の力でついに始動」と、鳥取県の因幡環境整備(株)の「生ごみを液肥化・・・善循環の食品リサイクル」の活動が報告されました。リーダーの情熱と行政の理解が必要でした。

第 2 分科会は、「つくる　食べる　学ぶ・消費者と農家の連携」のテーマで、南会津町いきいき健康農業の主任推進員が「農家や町民に生ごみ堆肥化指導・実地指導も」題して、「土づくり」の大切さを強調されました。ついでかすみがうら市よもぎ会の代表が「有機栽培市民農園誕生、教室と畑で実地指導」の詳細を発表しました。有機栽培市民農園として、土壌診断から畑の見取り図、栽培スケジュールの作成など、市民の意識が変わる過程が話され、感銘を受けました。

第 3 分科会は「次の世代を育てる食の循環づくり」のテーマで、牛久市の NPO エコライフ代表の「自然の理をともに学び、生きる力を育てて 10 年」と、栃木県高根沢町産業課長の「まちぐるみで進める子どもたちの食農教育」が発表されました。共通して言えることは①首長の強い意志②それを受けた職員や NPO 法人が幅広く活動③学校給食を通じて環境教育、食育、地域の活性化等に幅を広げる④子どものため、孫のためにと、住民と学校側の連携が大切であることでした。

（原嶋昇治、浜野春子、武田侃蔵）

会員・地域・流域の環境活動

第 4 回「水と緑と安心を!サイクリングで探訪」　　クリーン＆ハートフル川越

入間川堤防にあった水害の慰霊碑

「老袋の弓取り式」をやる氷川神社

「スズメバチ注意」の看板で通行禁止

水は土色だが鏡のような三ツ又沼

菅間緑地の排水路にびっしりと浮き草

吉野農協横の記念碑と水路が旧赤間川

9 月 17 日に、伊佐沼から江遠島緑地、入間川右岸、三ツ又沼ビオトープなどを廻りました。

明け方までの雨も止みましたが、雲行きも怪しく、傘持参で伊佐沼の荒川右岸用排水組合事務所前からスタートしました。満々と水をたたえた伊佐沼を半周して古谷のグリーンパーク横の江遠島緑地に向かいました。入口の橋の下に小型バイクが捨てられていました。団地横の金網越しに見る姿は、手付かずの自然というか、荒れたままと見るか、これからの整備の方向が待たれます。対岸も夏草が茂っていて入る道も見つからず、上江橋に廻って欄干の上から改めて緑深い全景を眺めました。

入間川右岸のサイクリング道路を、追い風の南風を背にして走りました。途中、昔の水害の鎮魂の小さな石碑などがひっそりと囲われていました。堤防改修のときに見つかったそうです。緑いっぱいの広々とした河川敷を見ると、水害の心配はまったくないのか、堤防下に新築住宅がどんどんできていました。

老袋で堤防を降りて近くの氷川神社に向かいました。2 月 11 日の「老袋の弓取り式」の神事で有名なところですが、境内の手入れは不十分で、氏子が少なくなっているからでしょうか。

また堤防に上って、入間川大橋を渡り、中間の荒川の堤防手前でサイクリング道路に降りました。左側は自動車道路で、右側は河川敷内の豊かな畑でした。三ツ又沼ビオトープの入口を示す標識がなくて行き過ぎ、地元の人に聞いてやっと入口に着きました。

入口の案内図を見てすぐ左の「緑の回廊」も、風で折れた小枝が散乱して歩きにくく、しばらく手入れがされていないようでした。ビオトープの散策路は、「スズメバチ注意」で進入禁止の看板が下げられて、なかは草がびっしりと散策路を覆っていました。やむなく、外側の自動車道を三ツ又沼のほうへ迂回しました。途中で、「外来種アレチウリ除去」の看板を立てて 3 人の職人が作業をしていました。沼の周りも通行路にロープを張って草むらに入らないようになっており、沼の近くまで近づけませんでした。

入間川右岸に戻って工業団地に入り、東清掃工場横を通りましたが、静かでお休みのように見えました。菅間堰からの疎水横を通って菅間緑地を見ました。排水路にびっしりと「アカウキグサ」が張り付いて、横の芝生と見分けがつかないようでした。最後に、芳野農協近くの耕地整理の石碑横の水路が旧赤間川の跡のようでした。その近くが暗渠になり、川の姿が無いのが残念、氷川神社横で解散しました。

（武田侃蔵）

びん沼川環境祭り

新河岸川放水路水門脇で集めたごみ

交通安全協会の飲酒運転の擬似体験

「新河岸川広域景観懇談会」を作っている川越市から和光市までの環境諸団体が参加して、初めての「びん沼川環境祭り」が富士見市のびん沼自然公園で開かれました。

ビン沼は川越市内にあって、新河岸川放水路につながり、びん沼川になって荒川につながっています。ヘラブナの釣り人で両岸はいつもいっぱいになっています。

かわごえ環境ネットも参加して、古市場の新河岸川放水路からびん沼との合流地までの両岸のポイ捨てごみを拾いました。地元の自治会からも参加して 14 人で清掃しました。その後、会場の自然公園でイベントの運営に協力しました。フリーマーケット、交通安全協会の「飲酒運転の疑似体験」、小型ロケット打ち上げ、阿波踊り、大太鼓の演奏と盛りだくさんのイベントで来場者を楽しませました。広い芝生での自然豊かな環境祭りでした。　（武田侃蔵）

その他の話題

◎「ストップ温暖化さいたまフェア&低炭素まちづくりフォーラム」10 月 30 日に

昨年に続き、第 2 回目の「低炭素まちづくりフォーラム」が、10 月 30 日に大宮のソニックシティー4 階会議室で開かれます。午前は 10 時から、生物学者で東京工業大学の本川達雄教授の「日本人はゾウなみのエネルギーを使う?!」の講演、ついで埼玉県主催の「家庭の電気ダイエットコンクールの表彰式と事例発表があります。

午後は 1 時から、次の 4 分科会に分かれて討議が続けられます。第 1 分科会は「くらしのエコ」、第 2 分科会は「深夜化するライフスタイルの見直し」、第 3 分科会は「生物多様性」、第 4 分科会は「自然エネルギー」となっています。第 4 分科会は、川越市を中心とした 10 市 2 町の環境関係者で作った西埼玉温暖化対策ネットワークが担当し、上領園子さんの講演と豊富な展示を用意しました。　（武田侃蔵）

◎「荒川放水路建設から 100 年シンポジウム」11 月 3 日に東京芸術センター天空劇場で

関東から東京を襲った明治 43 年の大洪水から 100 年、首都圏の治水のために「荒川放水路工事」が始まって 100 年を記念したシンポジウムと水辺ライン体験などが企画されています。参加申し込みは 10 月 20 日までです。応募・お問い合わせの事務局の Tel.・Fax.は 03-5733-5185、新河岸川を担当する荒川下流工事事務所のサイト http://www.arage.net/でも可能です。

◎「新河岸川広域景観プロジェクト」カヤックで川下りを試行

「新河岸川広域景観プロジェクト懇談会」は、

9 月 16 日に朝霞県土事務所で会議を開き、「舟運の新河岸川」の復活への試行として、カヤックでの川下りを、11 月 8 日（火）に実施することが決まりました。安全を考慮し、浅瀬である富士見市の江川合流点を出発点とし、志木市の市役所近くの船着場までの約 2 キロを、2 人乗りのカヤックで下る予定で、岸辺のごみも拾いながら川を下る計画をまとめました。

かわごえ環境ネットでも、希望すれば 2 隻を運行できるので、カヤックの経験者を募集して、「新河岸川川下り」の体験ができるよう、会員に呼びかける予定です。　（武田侃蔵）

◎新河岸川清掃をふじみ野市民と共同で

ふじみ野市の環境団体の小坂代表から、11 月 26 日（土）9 時から 11 時までの 2 時間で、上流の川越市と下流のふじみ野市の環境団体が協力して新河岸川の清掃を実施できないかとの申し入れがありました。かわごえ環境ネットでは、クリーン&ハートフル川越を中心に、流域自治会の有志も交えて、新扇橋から養老橋までの川越市部分を清掃することにしました。500m くらいに分けて、効率的に清掃できるよう計画中です。参加できる人は、武田（090-2521-5770）までご連絡ください。　（武田侃蔵）

近隣市の環境行政　日高市

9 月号で、坂戸市の「有料の指定ごみ袋」方式で成果を上げている例を紹介しました。川越市では、8 月 22 日の「廃棄物等減量推進審議会」に、「有料化について」の市長からの諮問が出され、1 年かけて検討することになりました。

ごみの焼却を地元の太平洋セメントに委託している日高市では、一足先に「ごみ有料化」の取り組みが進んでいます。太平洋セメントは、可燃ごみを特殊加工してセメントの材料にする技術を開発し、2002（平成 14）年 12 月から日高市の可燃ごみを引き取ることになりました。可燃ごみも資源になり、不燃物の分別を促進して、リサイクル率 100%と、県内トップを誇っていました。ごみ減量の取り組みについても、「ごみ減量市民会議」が市民参加で開かれ、2008（平成 20）年に提言が出されました。可燃ごみの量も 2007（平成 19）年をピークに、人口が増えているのに着実に減りました。

今年度から自然環境・生活環境・文化環境・地球環境の改善に向けた日高市環境基本計画がスタートしました。ごみ問題では減量目標を 10%から 15%へ、集積所方式の採用、ごみ袋の有料化等が検討され、今年 3 月には「ごみ減量審議会」からの「有料化」の答申が出されました。これを受けて、5 月から市内 80 自治会と順次懇談会を持って市民の理解を求めています。すでに 3 分の 2 の自治会を回り、11 月までに終わる予定になっています。「有料化やむなし」との意見が多数とのことでした。あわせて「日高市クリーン宣言」も制定される予定です。（武田侃蔵）

川越市からのおしらせ

つばさ館再開のお知らせ

資源循環推進課

東日本大震災により閉館していました、環境プラザ「つばさ館」が 9 月 13 日に再開されました。自治会や子ども会等の環境学習の際にぜひご利用ください。

10 月 1 日からは、市内小中学生から募集した「3R 推進とごみの散乱防止ポスター展」が開催されます。月曜日、祝日、年末年始を除く、午前 9 時から午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）が開館時間となっています。（10 月 9 日は臨時休館となります。）お問い合わせや、団体見学の予約申し込みは Tel.049-239-5053（つばさ館）まで。

平成 23 年度秋季苗木配布事業

環境政策課

10 月 29 日（土）午前 10 時 45 分から、川越運動公園（平成 23 年度産業博覧会会場内）において秋季苗木無料配布事業を実施いたします。この事業は、市民の緑化意識の向上と緑化の推進を図ることを目的として昭和 58 年より継続して行っており、これまでに配布した苗木は 6 万 9 千本以上となっています。当日は、ヤマブキ・ウバメガシ・ブルーベリーなど 500 本の苗木を無料で配布する予定でおります。先着 500 名に配布し、苗木が無くなり次第終了となります。

エコドライブ教習会への参加者募集

環境政策課

教習車と燃費計

実車教習の様子

エコドライブシミュレーター

地球にも財布にもやさしい、その上安全運転にもつながる「エコドライブ」の教習会を開催します。教習会では講義と実技を行います。実技は、市が用意した教習車（レンタカー・AT 車）による実車走行、又は日本興亜損保(株)様よりご提供の「エコドライブシミュレーター」の体験を実施します。実車走行では、燃費計を装着した自動車を用いてエコドライブ効果を比較します。シミュレーター体験は屋内で行いますので、実車走行に不安がある方もふるってご参加ください。今回ご協力いただきました日本興亜損保(株)様は、様々な環境への取組の一環として、「エコ安全ドライブ」の普及を推進されています。一般の方や事業者を対象に、講習会やシミュレーターの体験講座などを実施されています。

主催：かわごえ環境ネット、川越市
協力：日本興亜損害保険株式会社 埼玉西支店
内容：講義、実車走行又はエコドライブシミュレーター体験
日時：平成 23 年 11 月 5 日（土曜日）、正午～午後 4 時 30 分
会場：農業ふれあいセンター（川越市伊佐沼 887）及び周辺道路
対象：市内在住・在勤で普通自動車免許を取得している方（AT 限定可）
定員：AT 車 12 人、シミュレーター12 人（先着順）
参加費：無料
申し込み：電話で環境政策課（049-224-5866）

理事会・専門委員会からの報告

理事会

9 月 20 日に川越市役所本庁舎 7C 会議室にて第 6 回理事会を開催しました。出席 9 名、委任 1 名でした。主な議事は次のとおりです。

川越市から依頼のあった「市制施行 90 周年記念事業に係る事業計画書」について 4 件の提案があり、実施の可否について確認してから書類を作成し、期日までに提出することにしました。

自然環境部会から提案のあった資料印刷代の請求方法について、本会で統一して運用することにしました。　（理事長　小瀬博之）

社会環境部会

9 月の例会は、9 日（金）福田ビル 3 階において、出席者 15 名にて会議を進めました。主な議題は次のとおりです。

24 日のトピック講座・当日の準備作業について確認を行いました。

資源循環推進課からの可燃ごみの排出重量測定の調査依頼については、部会で取り上げているテーマで、行政側でも積極的に取り組み始めたことであり、全面的に調査協力することにしました。

また、昨年度に引き続き施設めぐりを春日部にある「地底探検ミュージアム」の提案がありました。この施設は、埼玉県の治水対策について知ることを目的にしています。実施は、11 月下旬の予定で、広報に案内を掲載しますので参加ください。

毎年行われている生ごみリサイクル交流会について参加者から報告がありました。

そのほか、エコライフ DAY の集計作業について日程調整を行いました。

生物多様性センター発行の冊子「いきものみっけ」の説明が会員よりあり、生物多様性の大切さについて考えてみましょうとのことです。

（社会環境部会代表　原嶋昇治）

自然環境部会

8 月 31 日（水）は、川越市役所 5 階のフリースペースにおいて環境政策課との、第 2 回・生物多様性についての話し合いを行いました。出席者は環境政策課より 3 名、自然環境部会より 5 名の総勢 8 名でした。今回は、当部会でまとめた「川越市の絶滅が危惧される希少動植物リストと分布マップ」を提供し、民有地で絶滅の危機に直面している希少動植物の保護対策として公有地へ移植し、危険分散する必要性を要請しました。次回は川越市の検討結果についての討議になります。

9 月 9 日（金）は、福田ビルにおいて 9 月度の自然環境部会が総勢 11 名の参加で開催されました。まず、（仮称）川越市森林公園計画地と池辺公園での活動報告がありました。次に、10 月 1 日に開催される生物多様性の勉強会の詳細計画の報告と環境政策課との生物多様性の保全に関する 2 回目の話し合いの結果報告がありました。続いて、コピー代について、パソコン印刷の場合も 1 枚 10 円という案が会計担当から提案され承認されました。連絡事項としては、池辺公園などの保全に関する公園整備課との話し合いが 9 月 28 日の午前 10 時より行われることが決まりました。

9 月 12 日（月）は、（仮称）川越市森林公園計画地において定例の植物調査が行われました。

（自然環境部会代表　大辻晃夫）

「川越の自然」編集委員会

川越市内の小・中学校、公民館、図書館に加えて公立・市立高校に寄贈しました。また、埼玉県立浦和図書館から「貴重な資料」としての提供依頼がありました。増刷しましたので希望の方にお分けできます。広報誌に掲載されている行事の際には 500 円で頒布しています。ぜひお求めください。

（「川越の自然」編集委員会代表　横山三枝子）

かわごえ環境フォーラム実行委員会

第 2 回実行委員会を、9 月 20 日理事会終了後に開催しました。出席者は 9 名でした。

開催期日・場所を 2012 年 2 月 25 日（土）9:45-16:30 川越西文化会館（メルト）に決定しま

した。午前に展示コーナーにおいて環境活動報告会をポスターセッションで実施し、午後は 2 つの部会がテーマを設定して討論会を行う方法で、今後、各部会でテーマを検討することになりました。

また、環境活動報告会に合わせて、「かわごえ環境活動報告集」を発行することになります。募集要項は 11 月の郵送資料にて詳しくお知らせします。11 月 30 日投稿・発表申込締切、12 月 21 日レポート投稿締切を予定していますので、準備をお願いいたします。

（小瀬博之）

おしらせ

「2011 アースデイ・イン・川越　立門前」は「川越の自然写真」と「昔の立門前写真」など多彩な企画

10 月 23 日（日）のアースデイは、「川越の自然」刊行を記念して、本に掲載された写真を多数展示しますが、市民にも実際に現地を見て廻って写真を撮ってもらうプレイベントを 10 月 3・5・7 日の 3 日間実施し、自転車で廻って写真を撮りました。よい作品を本会場に展示します。

熊野神社は、有機野菜や無農薬米の販売とともに、足踏み健康ロードの横で「健康足もみ」のグループと医療生協の健康診査が参加するなど、健康への関心が高まる工夫がなされました。

また、来年は市制 90 周年ですので、立門前の昔の写真展とあわせ、プレ 90 周年展も企画しています。話題のエコマネーの使用期間を川越まつりの翌日の 17 日から月末の 30 日までの 2 週間とし、加盟店も増やしました。ボランティア活動と地元商店との「絆」を深める本来の目的に沿った実験へと期待しています。

「第 11 回北公民館環境まつり」は「自然エネルギーの活用」と「子ども広場」

福島の原発事故の影響は、市民のエネルギーに対する関心を高めてきました。脱原発からの次の展望は「自然エネルギーの活用」となります。埼玉県の環境アドバイザーの上領園子さんの豊富な経験に基づいた講演が予定されています。また、小江戸塾の参加で「子ども広場」の企画もまとまりました。例年の環境標語・川柳・都都逸の募集も広報川越に掲載され、諸準備が進められています。

おしらせ

かわごえ環境ネット主催行事一覧（記号の凡例はイベントカレンダーをご参照ください）

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業

日時： 10 月 10 日（月）・10 月 24 日（月）・11 月 14 日（月）・11 月 28 日（月）9:30-12:30

場所：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

毎月第 2 月曜日は植物調査、第 4 月曜日は西側公有地の常緑広葉樹林遷移防止のための手入れ保全作業。いずれも南文化会館（ジョイフル）9:30 集合。事前連絡はいりません。

●社会環境部会（2011 年 10 月度）

日時：10 月 14 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2011 年 10 月度）

日時：10 月 14 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

両部会は、毎月第 2 金曜日の 13:00-15:00, 15:00-17:00 の連続開催です。次回は 11 月 11 日（会場は福田ビル 3 階会議室）です。会員であれば自由に出席できる話し合いにご参加ください。

★2011 アースデイ・イン・川越 立門前

日時：10 月 23 日（日）10:00-16:00

場所：蓮馨寺など（川越市連雀町 7-1）

◆理事会（2011 年度第 7 回）

日時：10 月 25 日（火）9:00-10:30

場所：福田ビル 3 階会議室

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第 3 回）

日時：10 月 25 日（火）10:30-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

★県民参加モニタリング調査　植物（水田地帯の植物調査）

日時：10 月 28 日（土）9:00-12:00

場所：小畔川北側「みなみかぜ」の有機田圃周辺

集合：9:00 小畔水鳥の郷公園駐車場

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

★第 11 回北公民館かんきょう祭り

日時：11 月 12 日（土）9:00-16:00

場所：川越市北公民館（川越市氷川町 107）

★環境施設めぐり

日時：11 月 22 日（火）8:30-17:00

場所：8:15 川越駅西口暫定自由広場集合

定員：先着 30 人、経費:1,300 円

申込は電話で環境政策課（Tel.049-224-5866）へ

春日部市内の「首都圏外郭放水路調圧水槽等」と幸手市の権現堂堤（古利根川流路跡）、江戸川開削跡、対岸の関宿宿博物館（利根川東遷工事の展示）等、関東の治水への苦闘の歴史を見学します。

会員・関係団体の主催行事

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118）

☞森林公園かんさつ会

◆10 月 23 日（日）公園主催・当会協力

国営武蔵丘陵森林公園南口 10:15 集合、15:00 過ぎ終了解散、参加費無料、入園料要、お弁当持参、雨天決行

◆10 月 31 日（月）当会主催

国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所に 10:20 集合、15:00 過ぎ終了、参加費 200 円。入園料要、お弁当持参、雨天決行。

10 月は、センブリの花やセンボンヤリの花を楽しみましょう。クモや昆虫類を観察します。ぜひおでかけください。

◆11 月 20 日（日）・22 日（火）当会主催

11 月は紅葉と木の実を観察します。カケスなどとの出会いも楽しめる頃です。冬越し前の昆虫なども探しましょう。ぜひおでかけください。

●福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

☞おいしく・楽しく農業体験

◆10 月 8 日（土）10:00 からの作業

大根畑の片付け・ビニールはがし

◆11 月 19 日（土）10:00 からの作業

里芋の収穫・芋煮会

集合：明見院（川越市今福 677）

クラブ会費：1 家族 1,000 円（保険代・備品代等）、クラブ員でない参加者は 1 人 100 円（保険代）とします。

福原ファームクラブ活動予定表

（活動日は第 2 土曜日、11 月は第 3 土曜日）

月	日	活動内容（先の内容はこれまでの例）
10	8	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	19	里芋の収穫・芋煮会
12	10	大根の収穫・ビニールはがし
1	14・21	雑木林の手入れ・落ち葉掃き・豚汁
2	11・18	雑木林手入れ
3	10・17	雑木林手入れ　焼き芋・スープ・あそぼうパン

●みなみかぜ　いきいき田んぼの会

（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：みなみかぜ　後藤・田崎

（Tel.049-234-1200）

場所：みなみかぜ（川越市吉田 204-2）

田んぼ活動ブログ http://blogs.dion.ne.jp/tanbo373

※活動には、誰でも参加できます。参加費はお

問い合わせください。イベント単発の活動参加もできます。

※毎週火曜・金曜、午前中に田んぼで作業をしています。

※秋冬も、田んぼの冬支度をしたりイベントや話し合いなどをしたりして活発に活動しています。ちょっと立ち寄ってみませんか？

◆10 月 8 日（土）10:00-11:00　例会

◆10 月 23 日（日）10:00-15:00 アースデイ・イン・川越 立門前　出展

◆10 月 28 日（金）9:00-12:00 田んぼまわりの植物調査（かわごえ環境ネット自然環境部会との協働）

◆11 月 6・7 日（日・月）10:00-東洋大学「第 2 回 こもれび祭」出展

●クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：武田侃蔵

（Tel.090-2521-5770, Fax.049-222-0786）

☞「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第 1 火曜日・第 3 木曜日（13:30-15:00）

◆10 月 20 日（木）

◆11 月 1 日（火）・17 日（木）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

2. 第 2 日曜日（9:30-11:00）

◆10 月 9 日（日）・11 月 13 日（日）

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

3. 第 4 土曜日（13:30-15:00）

◆10 月 22 日（土）・11 月 26 日（土）

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

☞川越まつりクリーン活動

◆10 月 15 日（土）・16 日（日）11:00-21:00

例年の、かわごえ環境ネット会員が参加して行われる川越まつりでのポイ捨てごみ拾い活動を、10 月 15 日（土）・16 日（日）の 11 時から 21 時まで、2 時間単位でクリーン活動を行います。本川越横のクリーン本部から、札の辻方面と川越駅方面の 2 方向に分かれて行います。2 時間の活動参加者には、「アースデイ立門前」協力商店で使える「エコマネー」を「300 アース」お渡しします。地域通貨の実験としてアンケートをとりながら意識調査も行います。参加できる人はなるべく日時を事前にお知らせくだされば幸いです。武田（090-2521-5770）まで。

☞「水と緑と安心を！サイクリングで探訪」第 4 回

◆11 月 19 日（土）9:00 集合

10 月の第 3 土曜日は「川越まつりのクリーン活動」と重なり中止。第 5 回は 11 月 19 日、釘無橋から小畔川･越辺川、大堀山館跡等予定。

●(財)埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

☞伊佐沼探鳥会　毎月第 2 日曜日

時間：10:00 集合-12:00（小雨決行）

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口近くの蓮見橋、解散は同じ場所で正午ごろ。

持ち物：筆記用具、あれば双眼鏡

参加費：300 円、高校生以下 100 円

（保険料・資料代として）

◆10 月 9 日（日）

沼は水を落として浅くなりました。シギ、チドリ、サギは各々餌を捕るのに良い水深の場所を選んで活動します。夏鳥と冬鳥の交代の季節です。多くの種類の鳥が見られるでしょう。

◆11 月 13 日（日）

残暑の続くなか、シギやチドリの仲間が渡って行きます。伊佐沼で、旅の途中休憩とエネルギーの補給をします。目的地に無事行けるよう応援しましょう。水面に吹く涼風に送られ旅立ちます。

イベントカレンダー（10 月 9 日～11 月 30 日）

日	月	火	水	木	金	土
10/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	10/10 体育の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査	10/11	10/12	10/13	10/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会 〇本誌 11 月号原稿提出締切	10/15 ◎11:00-21:00 川越まつりクリーン活動 〇可燃ごみの排出重量測定（9/18 から 2 回）
10/16 ◎11:00-21:00 川越まつりクリーン活動	10/17	10/18	10/19	10/20 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/21	10/22 ◎13:30 まち美化啓発運動
10/23 ★10:00 アースデイ・イン・川越 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	10/24 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動	10/25 ◆9:00 理事会 ◆10:30 フォーラム実行委員会	10/26	10/27	10/28 ★9:00 水田地帯の植物調査	10/29 ◎10:45 苗木無料配布事業
10/30 ◎10:00 低炭素まちづくりフォーラム	10/31 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	11/1 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/2	11/3 文化の日 ◎14:00 荒川放水路建設から 100 年シンポジウム	11/4	11/5 ★12:00 エコドライ教習会
11/6 ◎10:00 みなみかぜ「東洋大学 こもれび祭」出展	11/7 ◎10:00 みなみかぜ「東洋大学 こもれび祭」出展	11/8 ◎新河岸川カヤック	11/9 ◆12:00 広報委員会	11/10	11/11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	11/12 ★9:00 北公民館かんきょう祭り
11/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼探鳥会	11/14 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査 〇本誌 12 月号原稿提出締切	11/15	11/16	11/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	11/18	11/19 ◎9:00 水と緑と安心を！サイクリングで探訪 ◎10:00 おいしく楽しく農業体験
11/20 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	11/21	11/22 ★8:15 環境施設めぐり ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26 ◎13:30 まち美化啓発運動
11/27	11/28 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地 保全活動	11/29	11/30 〇かわごえ環境フォーラム投稿・発表申込期限	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください。		

月刊 かわごえ環境ネット 2011 年 10 月号 No.060

発行日　2011 年 10 月 8 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/